

### 30系プリウスに対して作業サポート「ブレーキ制御禁止」を使用された際の対処方法

#### 1：作業サポート「ブレーキ制御禁止」を使用した際の症状について

トヨタ車用診断ソフトのABSにおける作業サポート機能の内、「ブレーキ制御禁止」を30系プリウスで使用した場合、ABS警告灯が点灯します。この時、ABSコントロールユニットは下図のように故障コード（C1345、C1451）を記憶しておりますので、「2：作業・操作手順」で消去を行って下さい。

ダイアグコード (DTC) 表示	
検出コード	検出条件
C1345	リアサスペンション学習未実施異常
C1451	モーター駆動許可異常

ダイアグコード数：2

F1 DTC消去 F2 フリーズ/ブレーキ表示 F3 F4 画面保存 2014/05/25 14:59:52

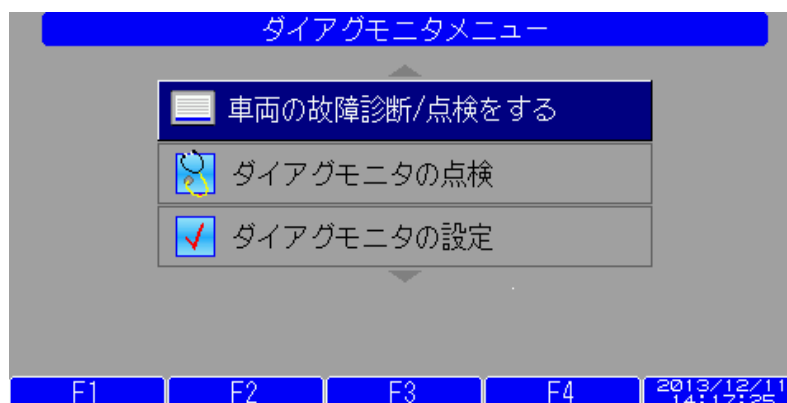
#### 2：作業・操作手順

##### 手順1

- ① I G-ONにして下さい。
- ② シフトレバーをPレンジに入れて、パーキングブレーキを掛けて下さい。
- ③ MTG3000を車両側診断コネクタに接続して下さい。MTG3000が起動します。
- ④ MTG3000の画面に「ダイアグモニタメニュー」が表示されます。

##### 手順2

「ダイアグモニタメニュー」の「車両の故障診断/点検をする」にカーソルを合わせて、YESボタンを押して下さい。診断ソフトの選択画面が表示されます。



### 手順3

診断ソフトの選択画面が表示されましたら、「プリウスの故障診断」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



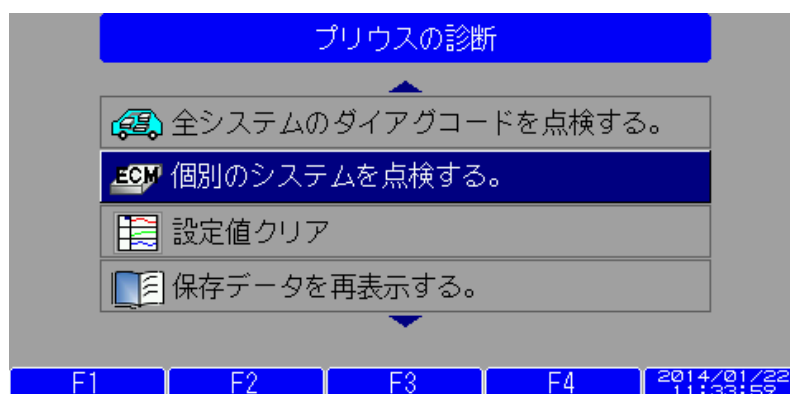
### 手順4

「エンジン型式」の選択画面が表示されましたら、「30系」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順5

「プリウスの診断」の画面が表示されましたら、「個別のシステムを点検する」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



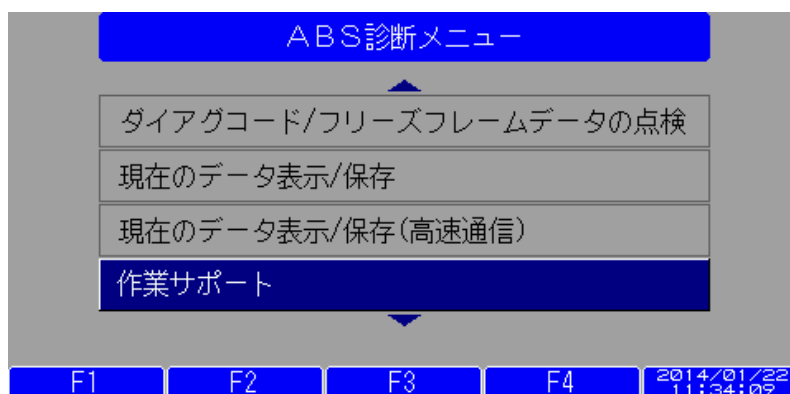
### 手順6

「システム選択メニュー」の画面が表示されましたら、「ABS（アンチロックブレーキシステム）」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順7

「ABS 診断メニュー」の画面が表示されましたら、「作業サポート」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



### 手順8

「作業サポートメニュー」の画面が表示されましたら、「エア抜き」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



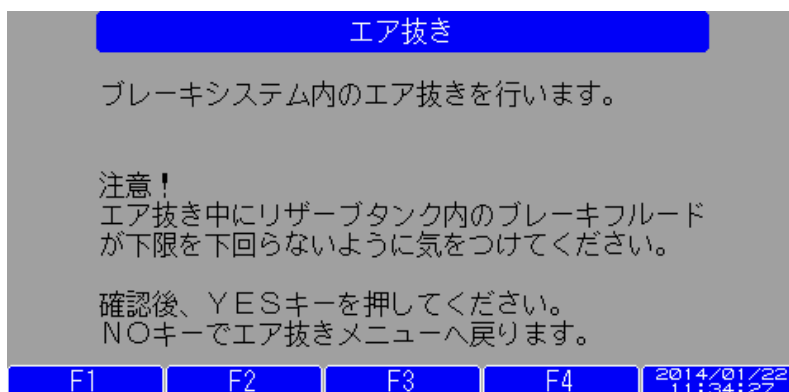
### 手順9

「エア抜きメニュー」の画面が表示されましたら、「通常時のエア抜き」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



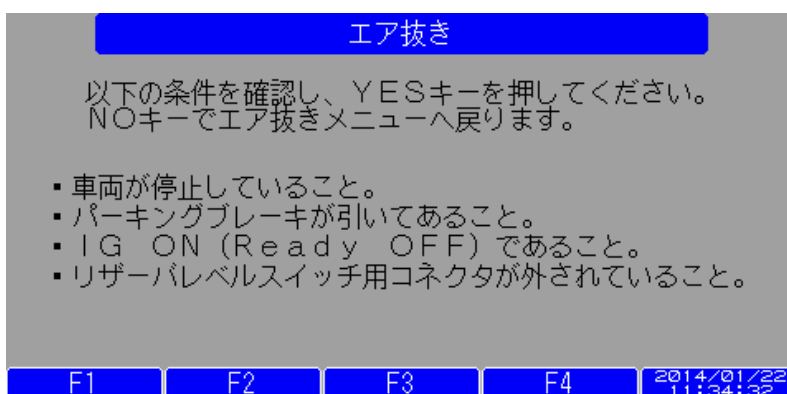
### 手順10

「エア抜き」の画面が表示されましたら、YESキーを押して下さい。(ブレーキフルードの補充を行う必要はございません。)



### 手順11

実行可能条件が表示されます。画面上に表示されている条件と車両の状態が一致していることを確認して下さい。確認後、YESキーを押して下さい。



### 手順12

RR輪（右後輪）の作業手順が表示されます。YESキーを押して下さい。（実際に、エア抜きを行う必要はありません。）

エア抜き

ブレーキペダルを踏んだ状態でRR輪のブリーダプラグを緩めてください。

RR輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けてください。RR輪のエアが抜けたらRR輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。

終了後、YESキーを押してください。

F1 F2 F3 F4 2014/01/22 11:34:36

### 手順13

RL輪（左後輪）の作業手順が表示されます。YESキーを押して下さい。（実際に、エア抜きを行う必要はありません。）

エア抜き

ブレーキペダルを踏んだ状態でRL輪のブリーダプラグを緩めてください。

RL輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けてください。RL輪のエアが抜けたらRL輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。

終了後、YESキーを押してください。

F1 F2 F3 F4 2013/11/15 11:51:44

### 手順14

FL輪（左前輪）の作業手順が表示されます。YESキーを押して下さい。（実際に、エア抜きを行う必要はありません。）

エア抜き

ペダリング後ブレーキペダルを踏んだ状態でFL輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行ってください。

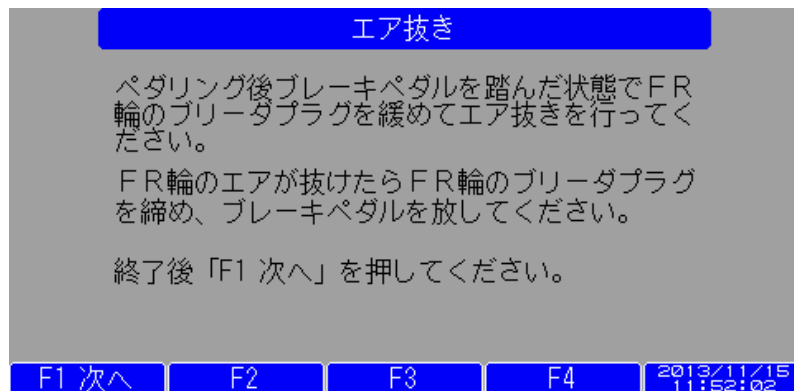
FL輪のエアが抜けたらFL輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放してください。

終了後、YESキーを押してください。

F1 F2 F3 F4 2013/11/15 11:51:56

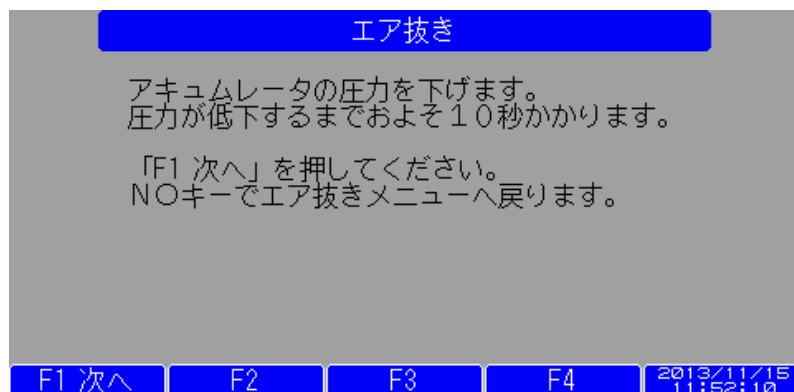
### 手順15

F R 輪（右前輪）の作業手順が表示されます。F 1 キーを押して下さい。（実際に、エア抜きを行う必要はありません。）



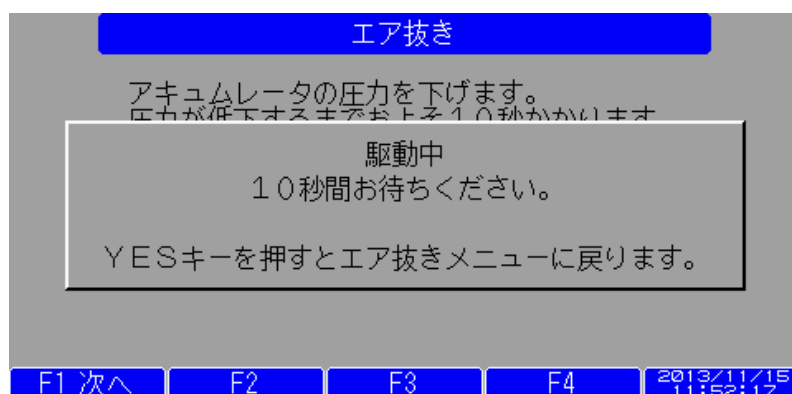
### 手順16

表示内容を確認したらF 1 キーを押して下さい。



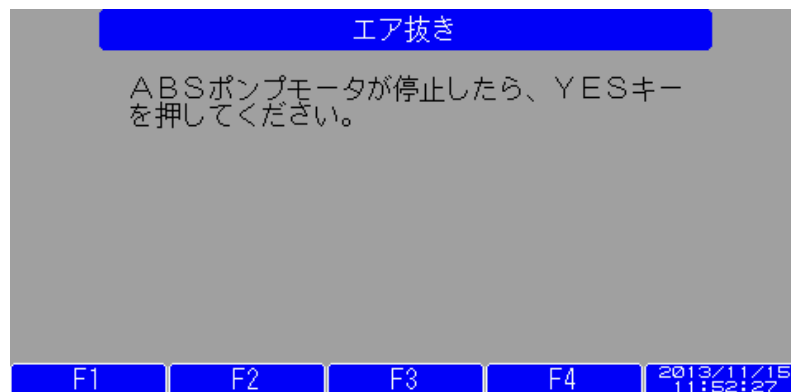
### 手順17

アキュムレータの圧力を下げる駆動が開始されます。「駆動中10秒間お待ちください。」のメッセージが消えて、次の画面が表示されるまでお待ちください。（メッセージ表示中はブザーが鳴り続けます。）



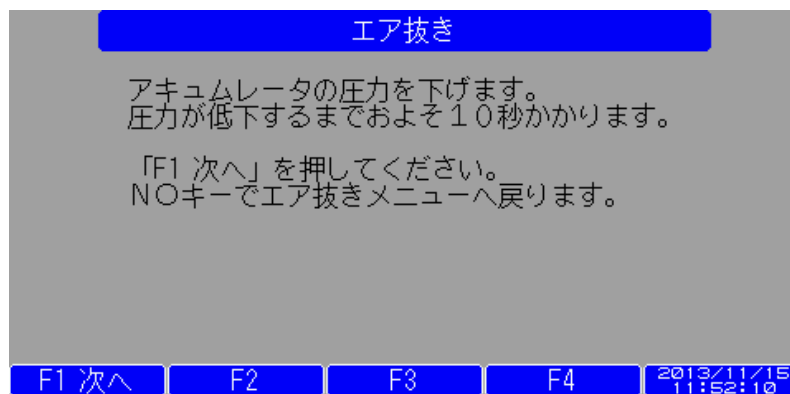
### 手順18

画面が切り替わり、ABSポンプモータが駆動を始めます。駆動音が止みましたら、YESキーを押して下さい。



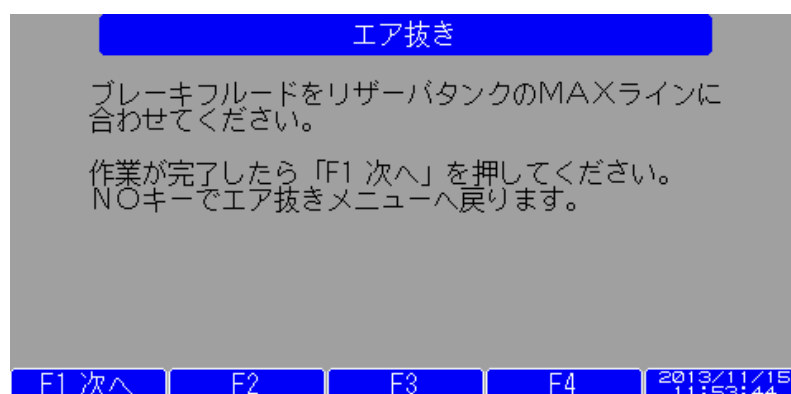
### 手順19

手順16の画面に戻ります。手順18から手順21までを繰り返し行い、手順22で示す画面が表示されるまで行って下さい。(6回程、繰り返すと手順20の画面が表示されます。)



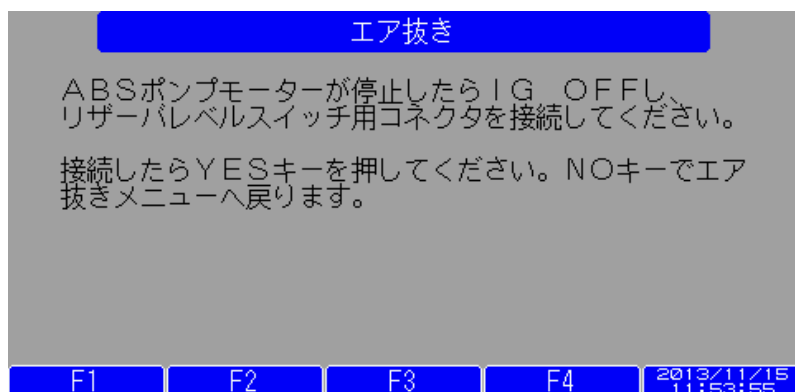
### 手順20

下図が表示されたら、F1キーを押して下さい。(ブレーキフルードの補充は必要ございません。)



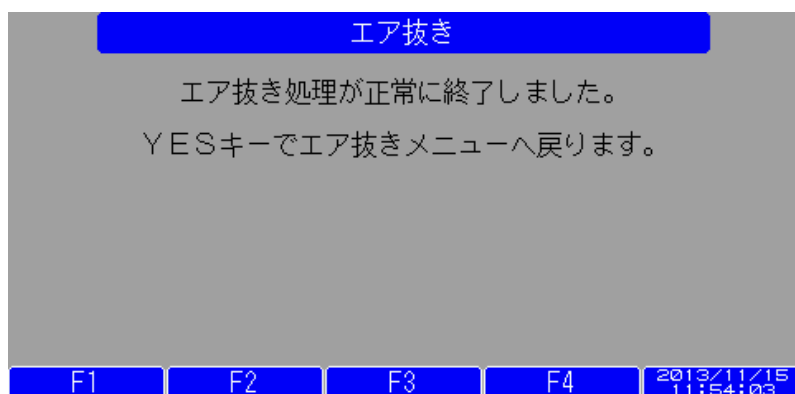
### 手順21

下図が表示されましたら、ABSポンプモーターが停止したことを確認の上、リザーバルレベルスイッチ用コネクタを接続して下さい。その後、IG-OFFにし、YESキーを押して下さい。



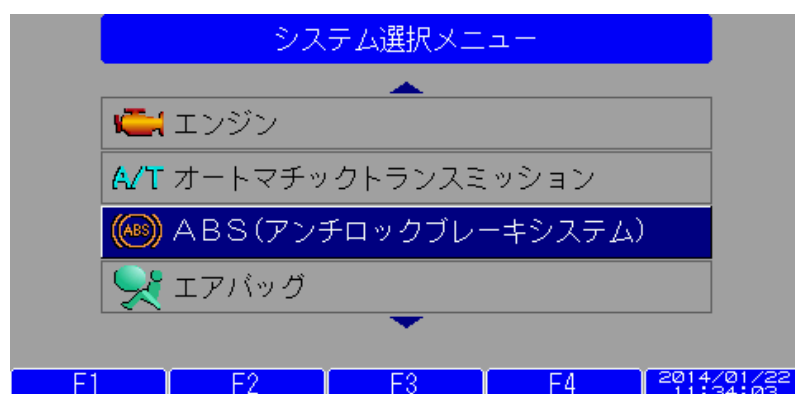
### 手順22

下図が表示されましたら、YESキーを押して「エア抜きメニュー」に戻って下さい。「エア抜きメニュー」まで戻ったら、「システム選択メニュー」が表示されるまでMTG3000本体のCキーを押して下さい。



### 手順23

下図が表示されましたらIG-ONにして、YESキーを押して下さい。





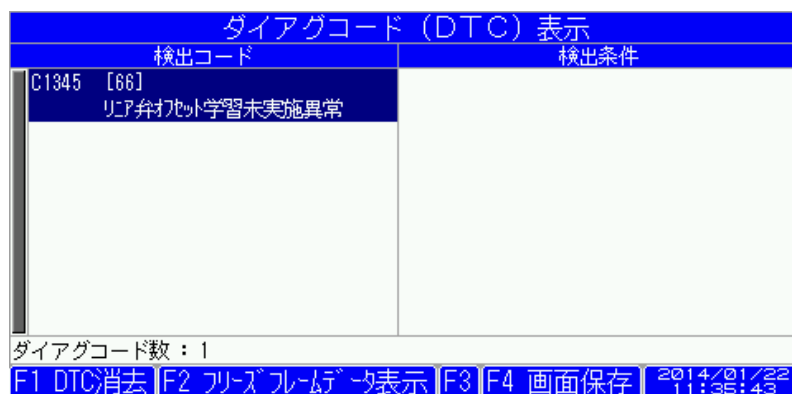
### 手順24

「ABS診断メニュー」が表示されましたら、「ダイアグコード/フリーズフレームデータの点検」にカーソルを合わせてYESキーを押して下さい。



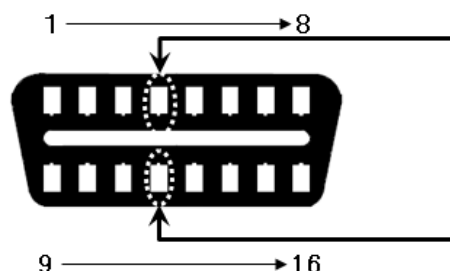
### 手順25

「C1451モータ駆動許可異常」が消去され、「C1345リア弁オフセット学習未実施異常」のみ表示されていることを確認したら、次の手順に進んで下さい。



### 手順26

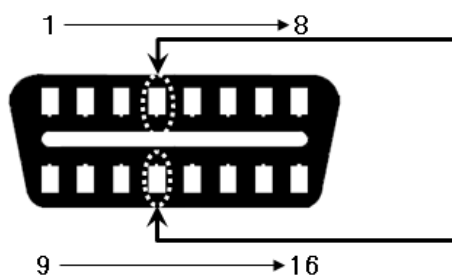
- ① READY ON時の補機バッテリー電圧が正常か確認して下さい。
- ② ブレーキアクチュエータが高温になっていない確認して下さい。(高温時は冷えるまで待って下さい)
- ③ IG-ONにして下さい。
- ④ **車両側DLCコネクタの12番と4番の端子を8秒間に4回以上、短絡と解放を行って下さい。**
- ⑤ IG-OFFにして下さい。



MTG3000のDLCケーブルを使用して短絡、開放を行うことも可能です。  
詳細は10ページをご参照下さい。

### 手順27

- ① パーキングブレーキを解除して下さい。
- ② 車両側DLCコネクタの12番と4番の端子を短絡して下さい。



- ③ I G-ONにして下さい。(シフトレバーがPレンジに入っているか確認して下さい。)
- ④ そのままの状態です2分間、ブレーキペダルを操作せず、車両を静止させた状態にして下さい。

### 手順28

- ① ブレーキウォーニングランプ（黄色）の点滅が1秒間隔から0.25秒の間隔に移行しているか確認して下さい。
- ② I G-OFFにして、車両側DLCコネクタの短絡を開放して下さい

### 手順29[終了]

下図の様にダイアグコードが表示されていないか確認して下さい。表示が無ければ作業は終了です。

